



さくらおか

【学校目標】

徳・知・体のバランスのとれた

質の高い桜っ子の育成

【めざす子ども像】

やさしい子・かしこい子・たくましい子

平成29年

5月26日

7号

文責：校長

「人権集会」をしました

朝の時間を使って「人権集会」に取り組んでいます。人権集会では、子ども達が自らの命の大切さや尊さに気付く、他人への思いやりの心を育むとともに、人権意識を深めていきます。19日（金）に下学年（1年～3年）の「人権集会」が、24日（水）に上学年（4年～6年）の「人権集会」がありました。

ここでは、下学年も上学年も「みんなのためのルールブック あたりまえだけど、とても大切なこと」（ロン・クラーク著）をもとに先生方から子ども達へ話をされました。この本には「子どもたちが、おたがいに思いやりをもって楽しく勉強できるように、そして大人になってからも、毎日を大切に、充実した人生を送れるようにとの願いをこめてつくられた50のルール。」が書かれています。この50のルールの中から、下の五つのことを紹介しながら、「やさしい子」になるために「当たり前なことを当たり前に取り組むことの大切さ」を考えさせながら学習を進めました。

- ①相手の目を見て話そう ②何かをもらったら、3秒以内にお礼を言おう
- ③だれであれ、仲間はずしにしない ④だれかが何か落としたり、拾ってあげよう
- ⑤だれかとぶつかったらあやまろう

そして、最後にルールの50の「きみのなれる、もっとすばらしい人間になれ」を紹介されました。自分に自信を持ち、友達にやさしくし、間違いから学び成長していく子どもになっていくことが、重要です。自分がこうなりたいと思う姿や夢をイメージさせながら桜岡の子ども達を育てていきたいと考えています。今の時点での理想の姿や夢をもっている子どもは「やる気」があり、いろいろなことに挑戦する気持ちが強くなります。



【下学年の人権集会】



【上学年の人権集会】

「絵本大好き」の皆さんの読み聞かせ

右の写真のように、1生も6年生も同じように瞳を輝かせて絵本の読み語りに集中しています。桜岡小学校では、月曜日の朝の時間に、ボランティアグループ「絵本大好き」の皆さんによる絵本の読み聞かせが行われています。本当にありがたいことです。担任の読み聞かせも素晴らしいですが、地域の皆さんと触れ合いながらの読み聞かせは、子ども達の心の成長を支える力となると思います。

桜岡小学校の合言葉の一つに読書が入っています。本に親しみ心を豊かにする体験をしっかり感じさせていきたいと考えています。

読み聞かせを聞いている子どもの姿を見て、この子どもたちはどんな絵本の記憶があるのだろうと思いました。私の場合は、保育園の時「くもの糸」を先生から読んでもらい、地獄や天国とか命とかを考えたことが大きな記憶として残っています。読み聞かせの一番は、親とも言います。読み方の技術の問題ではありません。親と子の心が触れ合う時間が素敵な時間になり、子ども達の宝物になっていくと思います。



交通安全に気をつけることができる

自分の周囲にある危険を知り、交通ルールを守って生活できるようになることは、地域生活における習慣作りの一つだと思います。子どもの遊びや生活圏は、当然のことですが年齢が上がるとともに、広がっていきます。また、自転車も乗り慣れてくると、少し遠くまで出かけるようになります。一つしかない命を大切に、自分で守るように、交通安全については学校でも機会あるごとに指導していきます。ご家庭でも、機会あるごとに話ししてください。一つの方法として、子どもさんと一緒に車で移動している時もチャンスはあると思います。車と一緒に乗っている時に、運転者から見た歩行者や自転車の交通マナーについて教えてもらおうと、子ども達の意識も変わると思います。